



かごはな通信 No.113

つゆの雨をおびた木々の緑の美しさに驚く季節となりました。その緑には山法師や泰山木などの白い花がよく似合います。ことに今年の夏椿(沙羅)は大きな花が次々と咲いては散って終ろうとしています。田んぼでは水の入るのを待つ蛙の音がはきやかになり始めました。自然のいのちのこの営みに恵まれた暮らしにひたる時、ウクライナの国土、人々のことが想い合われます。

このみずみずしいいのちの世界に、多くのいのちと共に生かされあって生きている。その事実にならびて生きる心が南無阿彌陀仏。

このたびおいで下さったマイケル・コンウェイ先生はお念仏の心をこのように教えていたのだと語って下さいました。

"Bow down before all of life as enlightened!"

あなたを教え導いて下さっているすべてのいのちに、頭を下げなさい!

「<sup>みね</sup>御名を唄く会」6月28日午後1時半～

今回は住職・坊主がご法話をさせていたたきます。どうぞお参り下さい。

南無阿彌陀仏

勝福寺